

一般質問(2)

市長は、住んでよかった、住み続けたいまちへ邁進せよ

遠藤 源太郎(自民)

再三指摘している向台中央通りと武蔵境通りの接続部分を拡幅せよ。また向台中央通り清水地所駐車場北側一方通行の拡幅と歩道を設置し、安全を図れ。

民」の動向は重要だ。田無駅方面に向くよう魅力あるまちづくりに努力せよ。

中央線利用想定の入居と考えるが、はなバスの乗り入れを図った。田無駅南口広場の検討を含め施策の有効性を研究する。



武蔵境通りと向台中央通りの交差点

公共下水道受益者負担金は、暫定処置のまま10年以上も1市2制度が続く。旧田無地区の生産緑地所有者は減免条項がなく、転用時に二重払いの負担を課せられ不公平だ。是正せよ。

調査検討する。

東日本大震災の時、市民は何をしたか把握し防災計画に生かせ。また、正しい情報収集や発信が混乱を防ぐ。日常からの市民への広報啓発活動が大切だ。

町内会からの講話依頼も多い。広報を充実する。

水の備蓄をしないで済むのか！ 他人任せの危機管理ではないか！

納田 さおり(無所属)

水の備蓄を強く求める！

3月11日の記憶が鮮明に残る本年度に危機管理計画の再構築を行うことが重要だ。特に災害時最初に必要となるのは水であり、市民が最低3日は暮らせる飲料水が必要と専門家は指摘する。現在、防災備蓄倉庫には飲料水が備蓄されていない。早急に確保すべきだ。

小売酒販組合等との協定や他自治体との応援協定があるので、市の自主的な水の備蓄は必要ない。

東北の被災地では物流がとまり、実際に災害協定が生きなかったと聞く。水は絶対に備蓄すべきだ。学校間で格差のない危機管

理体制と放射能測定を！

3月11日の震災時には、学校間で異なる対応があったとこのことで保護者から不安の声が上がっている。全校統一の危機管理マニュアルが必要ではないか。

各学校の対応を点検・評価し、指標や判断基準を設けるなどして今後危機管理の徹底を図っていく。

放射性物質から子どもを守りたい親の気持ちは純粋だ。校庭やプールの放射能測定を市で行い、分析評価はかつて旧田無市にあった東大原子核研究所の縁を頼って依頼してはどうか。

東京都が公表する情報を適切に提供する。

防災・震災時対応は市民目線で！ 情報公開・市民参加の充実を！！

大友 かく子(生ネ)

公園・公開空地へ防災トイレ等の設置を検討してはどうか。

住民の要望や地域の環境等を考慮し検討したい。

公共施設の15%節電に向けて、具体的な取り組みは。

公共施設節電対策関係者会議を設置し、基本方針を定めた。また、市報やホームページを通じて具体的な節電手法を周知し、家庭・事業所でチャレンジしやすい環境を整えたい。

広く多様な市民参加を進めるために、保育や介護を保障すべき。見解は。

次期総合計画の策定過程で新たな市民参加手法の導入を検討の後、実施結果を検証し、他の審議会の



市内小中学校の放射線量の測定と学校のプールの水質検査を要望！

桐山 ひとみ(無所属)

東日本大震災における本市の対応と影響、今後の課題については、多くの同僚議員からも質問が多岐にわたって出ている。特に放射能汚染の問題については、原発被災地である福島県に限ったことなく、首

都圏でも小さなお子様をお持ちの親御さんからさまざまなご意見や不安の声を伺っている。その不安の原因の一つは、西東京市に判断基準となる放射線数値がなく、地域の方々が判断するよりどころがないことが大

きな問題である。今後、本市独自に測定は行わないか。

放射線の測定について、国から基準が示されない中で市が独自に測定を行っても単に数値を公表するだけにどまり、市として責任を持った対応ができない。測定は現在予定していないが、東京都では東京緊急対策2011に基づき放射線の検査体制を充実させるとのことである。また、各方面からの要望により、多摩地域での測定体制を充実させ、結果を公表することである。今後、東京都の動向を注視していく。



放射性物質が検出された清瀬水再生センターの汚泥は再利用するな

石田 ひろこ(生ネ)

西東京市の汚水の最終処理場である清瀬水再生センターの汚泥の焼却灰から放射性物質が検出された。汚泥の再利用は危険と考えるが、中止するのか。

安全性を考慮し、焼却灰を使用したセメントや

建築資材などについては使用を停止している。今後の測定結果を注視していく。

西東京市で災害が発生した場合、罹災証明の発行を円滑に行う準備があるか。

大規模な災害が発生

市内の放射線測定は市の仕事 市民の安心のため、すぐ実施せよ

森 てるお(無所属)

福島原発の事故を市や教育委員会はどうか考えたのか。飛散残留放射性物質の測定をしているのか。

東京都が継続的な測定調査を実施し、健康に影響のない数値になっている。放射線量等は専門研究機関

が測定から評価、対策までを実施すべきだ。

市長の対応について、市長の答弁のとおり対応していく。

東京都で測り、西東京市が安全と言っているのか。

市民は市の数値が知りたい。国や東京都が安全と言っ

ても安心できない。自分で行動したい人がある。市民はパニックにならない。市民を信用すべきだ。端的に聞くが測るのか測らないのか。

市は機材を持っていない。東京都が緊急対策で多摩地域の測定を検討している。動向を注視したい。

測定器がないから測らないのか。子どもたちは市の数値がわからないまま

転げ回っている。安全と言える根拠はあるのか。市として測らないのか。

専門性の高い分野だ。市に測る考えはない。

飯館村ではデータがなく住民は逃げられなかった。市が評価しなくても市民は自分で判断する。市長は測るのか測らないのか。

東京都でいろいろな取り組みを進めている。